

第3回専門部会を6月19日に 市役所講堂で開催しました。

第1回ワークショップが開かれました。

今回の専門部会から、委員の方々の意見を多くいただくために、ワークショップ形式で行いました。既にお知らせしたとおり坂本委員がワークショップの進行を務め、ワークショップに入る前に専門部会の目的や役割などについて、再確認するとともにワークショップのルールについて説明がありました。



ワークショップの進行を務める坂本委員

専門部会の目的と役割

○目的

- ・今小路通り歩行者尊重道路の実施計画の作成
- ・実施に向けた合意形成への取り組み

○役割

- 参加者 実施計画作成と提案（鎌倉市へ）
- 行政 専門部会への情報提供
- 提案された計画の実現（事業化）

○作業予定 平成十九年十月目途

ワークショップとは

同じ目的を持って何かを作り上げるために人々が集まり、異なる感性や異なる経験に基づく考え方を出し合って、少しずつ自分たちの考え方をまとめ上げていく手法。

ワークショップのルール

ルール①

○みんなで話す

- ・限られた時間内で参加した全ての方が意見を述べる。また、人の意見を聞けるようにお互いに配慮する。
- ・一人で話を独占したり、また一言も話さないことが無いように心がける。

ルール②

○みんなで共につくりだす

- ・ワークショップは討論会ではないので、出された意見への批判・批評は行わない。
- ・発言者の立場に立って、その意見の背景やその人の立場を考えてみる。

ルール③

○みんなで作業する

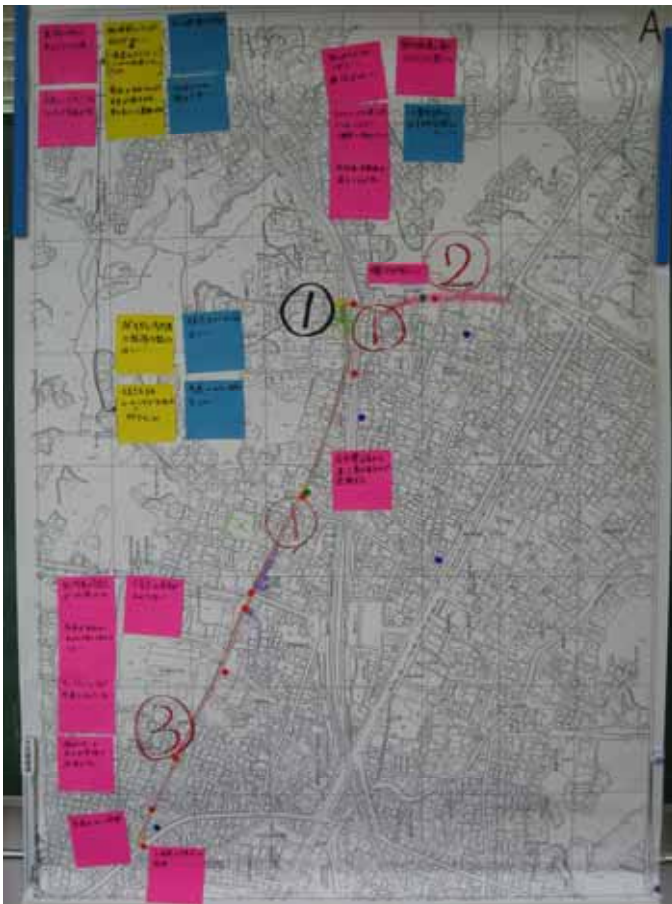
- ・参加者としての役割を認識する。
「市民・住民として出来ること」
「行政がなすべきこと」
- ・良い雰囲気、みんなで作る努力を。



Aグループの作業風景



Aグループの発表の様子



Aグループ作業マップ

□Aグループの主な意見
歩行者の視点

- ・六地藏から入ってきた車が、歩行者が少ないとスピードを出す。また、川喜多邸前も、車が少ない時スピードを出す車があるので、ハンパなど速度を落とす工夫をしてほしい。
- ・歩道のカラー舗装をしたい。
- ・歩道が十分活かされていない。
- ・歩道が無く危険。
- ・六地藏が観光地になって人がたまり交差点が危険。
- ・全体として側溝を歩道としている。

運転者の視点

- ・寿福寺の交差点の案内標識が分かりにくく、東京方面へ向かう車が右折せず直進してしまう。
- ・交通標識・案内板・ミラー等の改善が必要。
- ・規制標識が分かりにくく、右折禁止のはずが、紀ノ国屋方向から来た車が小町踏切方向へ右折してしまう。
- ・交差点のマーキングがほしい。
- ・イメージハンパが分かりにくい。

□今小路の地名の由来

寿福寺の東側の路。若宮大路の西側で、東側の小町大路とともに平行して走る道路『鎌倉志』では寿福寺門前にある鎌倉十橋の一つ勝の橋から南行し、東側の巽荒神社前までの道路。『鏡』には見られない地名である。『大日本地名辞書』には「扇ヶ谷の谷口より南に馳せ、裁許橋に至る旧街の名で、今は寿福寺の門前の南をいう」とある。

地名の由来は未詳だが、西の大道として新たに整備された路の意であろう。

今小路の初見は『僧都記』、天文八年（一五三九）十月条に「扇ヶ谷今小路番匠主計助」とあり、主計助が巽荒神社を修理している。

英勝寺の木造羅漢像に残る寛永二十年（一六四三）の胎内背面墨書銘に「鎌倉扇ヶ谷今小路」とある。

扇ヶ谷一丁目一三番地付近の発掘調査では今小路西側の側溝と推定される木製側溝が発見されている。

出典 鎌倉地名由来辞典



Bグループの作業風景



Bグループの発表の様子



Bグループ作業マップ

□Bグループの主な意見
歩行者の視点

- ・歩行者の安全がまったく確保されていない道路である。
- ・歩道が狭く歩行者同士の追い越し、すれ違いが出来ない。
- ・平日・休日とも渋滞し、安全に歩けない。
- ・道路が狭く、交通規制がゆるい。

運転者の視点

- ・道路が狭いため、対向車とすれ違うことが出来ない。
- ・路側帯が両側にあるため、歩行者が両側を歩くので車が通れない。
- ・電柱が邪魔、人の飛び出しが危険。
- ・道路が狭いが、一方通行規制になっていないので車で走りにくい。
- ・扇ガ谷踏切でどちらが優先か分からない。
- ・観光客が歩行者天国と勘違いしていて車で通れない。

編集後記

三つのグループに分かれてワークショップ形式の話合いが始まりました。各グループに自治町内会・商店会並びに市民委員の方が均等に分かれるように、くじ引きによりグループ分けをし、グループごとに意見をまとめて発表しました。

Aグループは松島さん、Bグループは酒井さん、Cグループは奴田さんが発表者になり、グループの主な意見を的確に話してくれました。

各グループの共通した意見は、歩行者に対して安全対策が講じられていないため、歩きにくい道路とのことでした。

大きな問題については、これから議論をしながら計画づくりをしていく予定ですが、今直ぐにでも解決できる問題は、直ちに取組むと同時に専門部会の活動を多くの方に周知していくことの大切さを感じました。

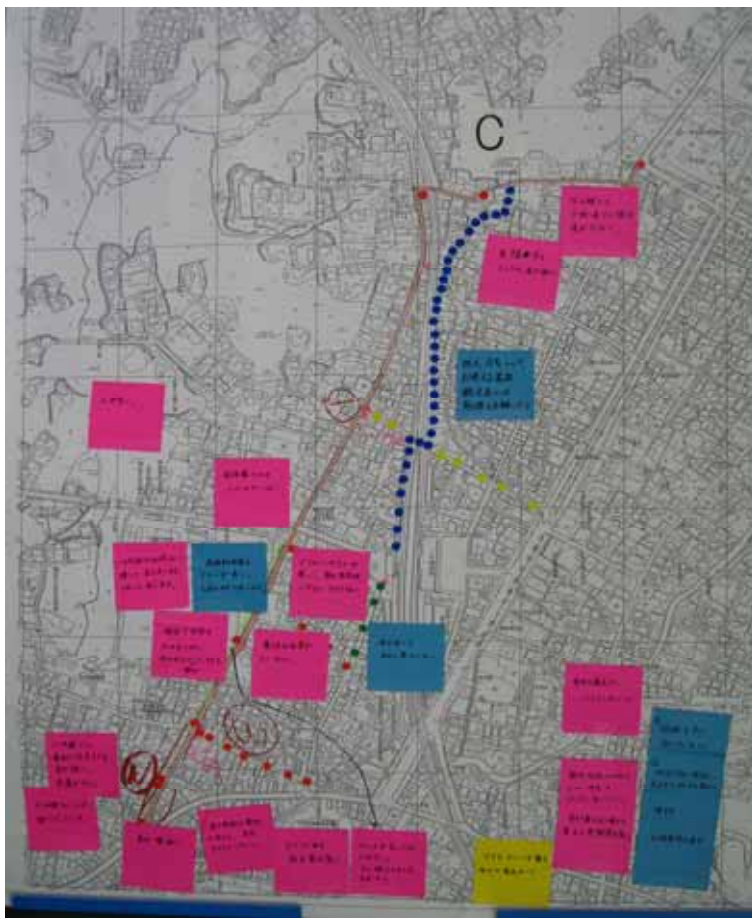
活動を周知するためにも専門部会ニュースの充実を図っていきます。



奴田座長自らが発表するCグループ



Cグループの作業風景



Cグループ作業マップ

□Cグループの主な意見

歩行者の視点

・ガードフエンスが長いいため、途中から歩道に入れないので、少し開けておいたほうがよい。

・側溝のふたがでこぼこしている。

・電柱の位置がよくない。

・ドライバーのマナーが悪い。

・スピードを出す車が多い。

運転者の視点

・今小路通りの中央あたりに若宮大路に抜ける通りを確保してほしい。

・六地藏から御成中学校交差点まで歩道がなく、路側帯が狭い、通学時間に生徒の安全を守る方法がないか

・御成中学校交差点から黒沼紙店へ抜ける道路は、車がスピードを上げて通る。

専門部会の傍聴者募集

第5回今小路通り歩行者尊重道路専門部会は、平成18年8月9日（水）午後6時から鎌倉市役所本庁舎（2F）全員協議会室で開催します。

市内にお住まい、またはお勤めの方なら原則、どなたでも参加できます。今小路通り歩行者尊重道路専門部会事務局（交通政策課）までお申し込みください。

TEL:0467-23-3000（内線2511）

FAX:0467-23-8520

E-mail koutsu@city.kamakura.kanagawa.jp